

# たんぽぽだより

2018年 2月号



新しい年が明け1ヶ月が経とうとしています、皆様の年明けはどうでしたか？

先日は内科検診と小児科医の片岡京子先生&薬剤師の吉田奈緒さんのお話会に参加して頂きありがとうございました。

参加された方には子どもさんが病気になった際の参考になったことと思います。

お話会の後《衣・食・住》の『住』の部分で本当に人が安心して住める「医師が薦める家」という吉田さんの新築されたばかりの家を見せていただきに鹿島まで行ってきました。

たんぽぽの保育室も床は合板ではなく、杉材です。壁もビニールクロスや合成糊ではなく紙と糊ですが、住環境によって学校の成績も変わってくると言う話を聞いたことが有ります。

吉田さん宅で、身近な病気に対して具体的にどう対処したらいいかという事に詳しい高木智美さんにお会いしました。(高木さんが作っているホームケアレッスンの無料ダウンロードできる小冊子を教えていただきました。)そこで新しい形の小学校の事など知らない情報もたくさんご存じでとても有意義な時間を過ごしました。

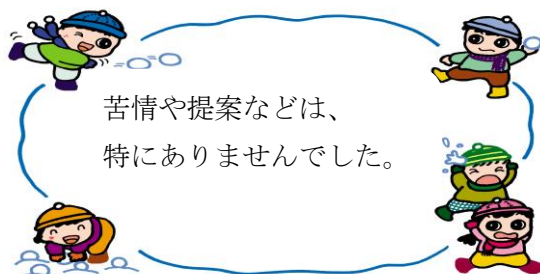
これからは世間一般で言われている情報を鵜呑みにせず一度「どうしてなんだろうか？」と調べ考える事で、自分で選択する能力を付ける事がこれからの子育てには必要になってくると思います。

またその姿を子どもに見せる事によって子どもにも〈自分で考え自分で行動できる人〉と言う事がわかるのだと思います。

## お話会に参加した方の感想

- ・予防接種は「しなければならないもの」と思っていて疑問に思ったことはありませんでした。
- ・目からうるこな内容で勉強になりました。
- ・親として何が安全で安心なものか見つめなおさないといけないと感じました。

園長:谷口真紀子



苦情や提案などは、特にありませんでした。

保育サロン  
たんぽぽ

## 2月の目標：身の回りのことを少しでもできるようになる。

ねらい：自分で出来る事を少しずつ増やして「できる！」と自己肯定感を高める。

つぼみ組(0歳児)：感染症や個々の健康状態に留意し、寒い冬を健康に過ごす。

- ・欲求や気持ちをしっかりと受けとめてもらい、安心して興味のある遊びを楽しむ。

もも組(1歳児)：身の回りのことを自分でしようとする。季節の行事に興味を持つ。

ゆり組(2歳児)：造形する楽しさや作ったもので遊ぶ楽しさを味わう。自分の身の回りの事を進んで行う。体調管理に気を付けながら戸外で楽しく遊ぶ。

さくら組(3歳児)：寒さに負けずに体を動かして遊ぶ。

## 2月の生活目標

つぼみ組：室内で過ごすことが多くなるので、天候や体調に合わせて園庭や園外に出る機会を作り、機嫌よく過ごせるようにする。保育者や友達と一緒に、ふれあい遊びや探索遊びを楽しむ。好きな絵本を保育者と一緒に見て喜ぶ。お家の方と給食室と連携をとりながら離乳食を進めていく。

もも組：冬の健康保健に留意し、心身共にのびのび過ごす。個々の心情(甘え、自立)を受け止め、欲求を満ち、情緒の安定を図る。体を動かして温まる。保育者や友達と、いろいろなつもりあそびやごっこあそびを楽しむ。氷や霜柱、雪など身近な自然にふれながら、見たり、手で触ったり探索活動を楽しむ。日常の挨拶に親しみを感じる。保育者と季節の歌を楽しみ、口ずさむ。スプーン、フォークの使い方、食器への手の添え方などをその都度知らせる。

ゆり組：基本的な生活習慣の習得を個々に合わせて援助し、一人でできた喜びを味わえるようにする。保育士や友達に認められ共感し合う中で、安心して生活ができるようにする。寒さに負けず、戸外で遊ぶ。ルールのある遊びを知り、集団で遊ぶ楽しさを味わう。豆まきに参加して雰囲気を楽しむ。言葉でやり取りする楽しさを味わう。季節の歌を歌ったり、振り付きで楽しんで踊る。箸の使い方を覚えようとする。楽しい雰囲気の中で自分から食べようとし、苦手な物も自分から食べようとする。

さくら組：遊びを通して生活への自発性が豊かになり、十分に認めることで成長の喜びを知らせていく。意欲をもって取り組む気持ちを大切に、できたことを誉め、心の安定に努める。全身を使った遊びを楽しみ、寒さに負けず元気よく過ごす。自分の思いを伝えたり、表現したりしながら、友達と遊ぶ楽しさを味わう。冬の自然現象に触れたり体で感じたりする中で、驚いたり面白さを味わったりする。友達や保育者に自分の気持ちを伝えようとしたり、友達の話や話を聞こうとしたりする。感じたことや思ったことを動きや言葉で表現して楽しむ。献立や食品に関心を持つ。食具が正しく使えるようになる。